

2024年9月6日
商工中金

切り出しカステラやふぞろいどら焼きを提供する八昇製菓株式会社を ポジティブ・インパクト・ファイナンスでサポート

商工中金は、サステナブルファイナンスなどの取組みを通じ、お客さまのサステナブル経営および持続可能な社会の実現に貢献していきます。

商工中金（津支店）は、八昇製菓株式会社（本社：三重県松阪市、代表者：道林 年秋）に対し、サステナブル経営に必要な資金として2億3,000万円を融資しました。本融資については、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）を適用しています。

同社は、和洋半生菓子の製造を手掛けています。同社の「切り出しカステラ」や「ふぞろいどら焼き」は日経 POS セレクション（※）で売上No.1を獲得した実績があるなど、消費者に高く支持されています。

（※）日本経済新聞社が独自に収集している POS 情報を基に、売上高や売上高の伸び率が高い商品を選出するもの

今回同社は、地域雇用の創出や省エネ機器の導入による CO2 排出量の削減等の取組みを通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関する KPI（注）を設定。環境経営を通じて、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

（注）同社 KPI 詳細は、商工中金 HP 掲載の「[ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書](#)」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた綿密な事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援していきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

【八昇製菓株式会社の概要】

所在地	三重県松阪市大口町字新地 1510-45
代表者	道林 年秋
業種	和洋菓子製造業
資本金	2,000万円
従業員数	169名（2024年5月時点）
設立	1974年8月

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



(※)「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト（ポジティブな影響・ネガティブな影響）の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして(株)日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

